



2017

自分を鍛える夏のプログラム

「たこ天」とは…

こどもから大人までが「た」くましく、
「こ」どもの純粋な心を捨てない、自
分を取り戻す空間「天国」を作り出す
プログラムです。



「子どもグループ」のご案内

■ 日程 **2017年 8月19日(土)～22日(火)**

4日間の合宿形式（原則全日参加）

8月19日(土) 受付12時30分～(現地集合) プログラム開始：13時30分

8月22日(火) 終了12時45分（現地解散）

■ 場所 **菅平高原ホテル柄澤**

〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278

TEL (0268)74-2555 (代表) / FAX(0268)74-2380

ホームページ <http://www.hotel-karasawa.co.jp/>

■ アクセス

お車の場合（カーナビの入力は、ホテル名か電話番号で検索してください）

東京方面

関越自動車道 → 藤岡JCT → 上信越自動車道 → 上田菅平IC → 菅平高原ホテル柄澤

電車(新幹線)・バスの場合 長野新幹線・しなの鉄道上田駅下車 菅平高原行バスでダボス停留所下車 徒歩1分

■ 参加費 小学生 ¥43,200 (1名) 親子料金 ¥86,400

※ 親子料金は大人1名・子ども1名の参加費です。お子様を複数お連れの場合は、2人目からはお一人につきプラス1万円となります。

※ 参加費には宿泊費が含まれています。現地までの交通費は別途各自ご負担ください。

※ 当研究所にて継続して面接を受けている方は2割引となります。 ※ 分割支払いも承ります。

たこ天「子どもグループ」で元気でたくましい心をきたえよう

<小学生のみなさんへ>

たこ天子どもグループはやりたいことをやりぬき、言いたいことを言いきる元気でたくましい心をきたえるグループです。私たちが4日間を過ごすたこ天村の高原では、山登りができます。広い野原をかけまわられます。サッカーや大なわ飛びができます。竹とんぼを作って大空に飛ばすこともできます。小川で小舟を走らせたり、山の景色を絵に描いたり、他にもいろんなことができます。

きみがやりたいことはなんだろう。挑戦したいことはなんだろう。仲間達と4人のリーダーと一緒に、おもいきりやってみよう。

グループで何をするかをみんなで決めて、なんでも挑戦しよう！ひとりじゃできないことでも力を合わせれば大丈夫。皆で協力すれば、大人たちもびっくりする、すごいことができるはず！4日間で今よりひとまわりもふたまわりも元気でたくましくなろう！



<保護者の皆様へ>

たこ天は、子どもも大人もたくましい心を鍛える夏の合宿です。しっかりと自分の意見を言える子。仲間と協力できる子。壁にぶつかっても諦めずに立ち向かえる子。子どもたちは本来、簡単には折れない、粘り強く逞しい心を持っています。

たこ天では子ども達は8人の仲間と4人の心の専門家と寝食を共にし、山や広い野原を駆け回り、チームスポーツや工作・絵などの創作活動に取り組みます。グループで何をするかを子どもたち自身で決め、仲間と協力しなければ達成できないことにも挑戦する中で、自分の強さやたくましさ、心の底力を子ども達自身が体験し発見していくことを目指します。

普段、学級やグループが苦手な子に、たこ天子どもグループはよいグループ体験を提供します。4人の心の専門家（セラピスト）がいつもの学級やチームなどとは違う安全な集団・グループを作り、思い切り活動し、グループが苦手なことを克服することを助けます。

小学校2年生から5年生は、社会という枠組みの中で、心と体を思い切り使って様々なことを学び、自分の能力を試し、何かを生み出す体験を重ねながら、誇りや自信、簡単には諦めない粘り強さを培ってゆく時期です。いじめや社会生活の軋轢に負けないで、その後の人生を逞しく生きて行くためには、この時期に社会性の根をしっかりと張る子育てが必要です。自分で意志決定をし、決めたことを仲間と共にやりぬく、逞しくも心優しい子に育てるために、可愛い子にたこ天の旅をさせてみるのはいかがでしょうか。



対象：小学2年～5年の男の子と女の子 定員8名（男女4名ずつ）

※小学1年、6年の子ども、その子の成長、状態を考慮の上、参加を受付ける可能性があります。ご関心をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。

子どもグループセラピストの紹介

はない としのり バス しんりきょういくけんきゅうしょ
花井 俊紀（PAS心理教育研究所サイコセラピスト／野の花メンタルクリニック・カウンセリングオフィス）

活動を使って心育てるアクティビティセラピーを通じて、お子さんの不適応や行動の乱れの改善に取り組んでいます。また、お子さんと並行して親御さんの相談も行っています。クリニックでは小学校時代の心の発達が弱いために大人になってから起きる不適応・ひきこもりのサイコセラピーを専門にしています。

なん じょんあ バス しんりきょういくけんきゅうしょ
南 貞雅（PAS心理教育研究所サイコセラピスト／杉並区特別支援教育課）

遊びを通じて心育てるプレイセラピーを通じて、お子さんの不適応や行動の乱れの改善に取り組んでいます。また、お子さんと並行して親御さんの相談も行っています。教育センターの相談員として多くのお子さんと親御さんの相談・セラピーをしています。

あめみや もとひろ
雨宮 基博（山梨県都留市立旭小学校教頭）

小学校の教頭先生を務める教員歴27年のベテラン教師です。学級の中で子どもの心育てる一つの手法の学級集団精神療法の実践・研究をしています。

うえまつ あきこ バス しんりきょういくけんきゅうしょ
植松 晃子（PAS心理教育研究所サイコセラピスト／ルーテル学院大学准教授）

「私はこういう人だ」という自分を確立するアイデンティティの発達の専門家です。自身の研究活動の他、大学で学生たちの専門指導・研究指導を行っています。

たご天「子どもグループ」の1日

朝 (あさ)

あさ じきしょう
朝は7時起床
は
歯をみがいて、けんこうチェック
みんなでラジオたいそう体操をしよう！



じぶん からだ じぶん
自分の体を自分でととのえよう

自分の体の状態を自分自身で把握し、軽い運動などを通して自分で自分の体の調子をととのえることを身につけることは、健康な体と心を作る基礎となります。

あさ
朝ごはん
みんなでおいしくた食べよう。
1日元気に活動するためのエネルギーをとろう。



た からだ
食べることで体をつくろう

みんなでたのしい時間じかんを過ごそう

子どもにとって食べることは体をつくるために大事なことです。みんな楽しく食べていると食も弾みます。また食事の時間はただ食べるだけでなく、みんなで話したりしながら楽しく過ごす時間でもあります。食卓を囲み、今日やりたいこと、自分の好きなもの、1日あったことなどをおしゃべりすることも大事な時間です。

こ じかん
子どもグループの時間
みんなで絵をかいたり、こうさくしたり、サッカーしたり、基地を作ったりします。
自分のやりたいこと、みんなでやりたいことをやってみよう
何をするか子どもたちみんなで話して決めてみよう。



かつどう こころ からだ きた
おもいっきり活動して、心と体を鍛えよう

子どもは活動の中で、体を使い、知恵を使うを通して、自分の強さやたくましさ、心の底力を発見します。やりたいけど、すぐにできないことにも諦めずに取り組む中で、心も体も技術も鍛えられます。達成できた時、自分に自信と誇りを持つことができます。

昼 (ひる)

ひる
昼ごはん
午後の活動にむけてしっかり食べよう



なかま きょうりよく
仲間なかまで決めたり、協力きょうりよくできるようになろう

仲間なかまで何をするか、子どもたちで話し合っ決めて、主張する力や決定する力、調整する力を育みます。また、一人ではできないこともみんなで力を合わせて取り組むことで、協力することや役割を担うこと、責任を持つことを体験していきます。

こ じかん
子どもグループの時間
たご天村には、子どもたちだけでなく、大人がいっぱいいます。
大人とも一緒にドッチボールや山登りもできます。
自分の知らないことを大人から教えてもらおう！



こ じかん
子どもグループの時間
朝の子どもグループの時間の活動の続きすることも、朝とはちがうこともできます。
できなかったこと・完成しなかったことが悔しかったら、できるまでねばりづよく挑戦してみよう！

おとな おとな
いろんな大人と話してみよう

たご天には、10代の青年から、20代の若い大人たち、子どもたちの親の世代、子どもたちのおじいさんおばあさんの世代まで、いろいろな世代の人達が参加します。集まった人たちで4日間の村を作り、その中で生活します。

夜 (よる)

ゆう じかん
夕ごはんの時間
1日あったことを話しながら、楽しく食べよう。



こ じかん
子どもグループの時間
今日楽しかったこと、うれしかったこと、かなしかったこと、くやしかったこと、おこったこと、話しながら1日をふりかえろう

ふる じかん
お風呂の時間

こ じかん
コミュニティの時間
ねるまでの時間、たご天村のみんなといっしょにすごそう。

よる じしゅうしん
夜は9時就寝

様々な世代の人々と関わることは、いつも子どもたちで過ごしている時より世界が広がります。世の中にはどんな大人がいるのか、大学生はどんな人なのか、会社で働く人はどんな人なのか、大人たちを知ることもできます。素敵だと思える大人と出会うことができれば、将来の理想を得ることができます。

たご天村では、子どもたちは村を作る大事なメンバーの一人です。村の一員として村の集まりに参加することで、コミュニティの一員であるという所属感を体験します。



菅平の風景

たこ天は、子どもだけでも、親子でも参加できます

たこ天は、親子で参加することのできるプログラムです。当日は、親グループ・子どもグループに分かれて活動します。親グループ・子どもグループは、それぞれ親御さんのみ、お子さんのみの参加も募集します。

「親グループ」

セラピスト：能幸夫・山下由紀子

お父さん、お母さん、日頃、お子さんとどのような会話をされていますか？どんな風にお子さんと接していらっしゃいますか？
もしかしたら、日々の慌ただしい生活の中で、お子さんの勉強や宿題、習い事のフォロー等で忙しく、お子さんとゆっくり話をしたり、成長をじっくり確認するための時間をなかなか取れていないかもしれませんね。

また、お子さんにこんな風に育って欲しい！！というイメージはあっても、ご自身がどんな親になるか！？とは、普段あまり意識されないかもしれません。

この4日間、成長著しいお子さんとともに、また日頃接しているお子さんのことを思いながら、親として子育ての中で感じる一瞬一瞬の喜びや楽しみ、迷いや悩み、苦労を親同士のグループでたっぷり語り合いながら、父として母として、夫として妻として、男として女として、かけがえのないひとりの人間として自分自身と向き合い、磨きあいましょう！

対象：① 小学2～5年までのお子さんを持つお父さん、お母さん

② お子さんの年齢に関わりなく、親子関係に関心のあるお父さん、お母さん（お子さんが成人されていても構いません。）
定員8名

■ 申込方法

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、当研究所まで直接お持ちいただくか、ファックスまたは郵送にてお送りください。

締め切り：2017年7月31日(月)

送り先：〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9 PAS心理教育研究所

電話・ファックス：03-6407-8201

受付・問い合わせ：中村有希（ディレクター）・花井俊紀（子どもグループリーダー）

（注1）定員を超えた場合は参加をお断りすることがございますのでご了承ください。

（注2）参加者全員に事前のオリエンテーションを行いますので、お早めにお申込ください。

随時、無料説明会を開催します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

年に一度、自分の中のおとなしい日頃の自分、慣れ親しみ過ぎている自分の服を脱いでみませんか。

大人も子どもも、自分の中に潜ませている原始のエネルギーを、もっと言葉に、表現に運動に、そして人間関係に思いっきりぶつけてみませんか。初めてお目にかかる人から古くからの知り合いで集まって、私は40年来、この祭りを主宰しています。以下年来の呼びかけ文です。人生のひとときの寄り道、寄っていきんさい！！

「自分の中の子どもと今の自分との間に心地よい河が流れていますか。自分の中の子どもの心を忘れて窮屈になり、子ども心に浸り鬨（ひんしゅく）を買って大人の作法で自分を責めてしまう、あるいは周りの声が聞こえなくなることもあるだろう。子どもの心と大人の心が入り込んで河の波が泡立ち、逆巻く青年もいるだろうか。時に困るのは、河の流れが干上がって子どもの自分と大人の自分の間で喧嘩が起きたり、瞬間に子どもの自分が吹き出して怒り、天をついたかと思うとけろっと大人の慎ましさに戻ったり……。なかなか子どもと大人の間のたおやかな河の流れに遊ぶことが難しいものです。この切れそうな間を取り戻すのが祭りというのですが、これだけは時代が変わっても失いたくないもので。PAS 始まって以来の伝統の祭り、たこ天はグループセラピの祭りです。思いのたけを存分に語り、聞き、共に子どもに還り背伸びもして思いっきり大人の自分も押し出して、子どもと大人の河を喜びと安堵の波で溢れさせましょう。これからの人生をダイナミックなものにするために。

寄って行(生)きんさい、たこ天村へ！！」

たこ天村 村長 小谷英文